

回 答

団体名（日本労働組合総連合会大阪府連合会）

（要望項目）

5－①(4)大阪府育英会奨学金制度の維持

大阪府財政構造改革プラン（案）において、大阪府育英会奨学金制度の見直しが示されている。特に入学資金貸付については、「国と地方の役割分担を踏まえ、高校等入学資金の貸付への重点化を検討」とされており、大学等入学資金の貸付を縮小・廃止する方向となっている。しかし、「大学等入学資金貸付」の申込者数は例年4千人（2010年度は4,304人）と多数であり、制度変更が及ぼす影響はきわめて大きいといえる。子どもたちが経済的な不安なく、希望する進路を実現できるよう、拙速な制度変更を行わないことを求める。

（回答）

平成22年10月公表の大阪府財政構造改革プラン（案）において、奨学金制度については、「制度が持続可能で、より効果的な制度となるよう再構築を図る」こととしております。

入学資金貸付については、国と地方の役割分担を踏まえ、来年度より大学貸付を廃止し、高校貸付に重点化を図ることとしております。

このため、激変緩和措置として、平成25年度に大学等へ進学する生徒に対し、家庭の経済的事情から有利子貸付制度により進学費用を調達せざるを得ない場合、返済時の利子負担に対する利子補給を行う制度の創設を2月議会において審議いただきます。

（回答部局課名）

府民文化部 私学・大学課